

富山県並行在来線対策協議会のあり方等について

平成 24 年 5 月

1 趣旨

県並行在来線対策協議会では、平成 24 年度に経営計画概要（最終）を取りまとめる予定であり、当協議会については当初の目的を達成する見込みである。

一方、先行事例では、三セク会社（本格会社）設立後などに、県、市町村、民間団体からなる利用促進協議会等を設立し、マイレール意識の醸成など利用促進の観点から三セク会社を支援しているところが多い。

こうしたことから、今後の対策協議会のあり方と、県民ぐるみで利用促進に向けた取り組みを進める組織について検討する。

2 先行事例（詳細は別紙参照）

・しなの鉄道

しなの鉄道沿線市町村連絡会（H8.10 会社設立後開業前に設置）

・IGRいわて銀河鉄道

いわて銀河鉄道利用促進協議会（H14.12 開業時に設置）

・青い森鉄道

青い森鉄道利用促進協議会（H14.11 会社設立後開業前に設置）

・肥薩おれんじ鉄道

肥薩おれんじ鉄道沿線活性化協議会（熊本県 H15.6 会社設立後開業前に設置）

肥薩おれんじ鉄道利用促進協議会（鹿児島県 H16.6 開業後に設置）

3 主な事業（先行事例）

①マイレール意識向上、広報PR

・沿線イベント等の広報支援、鉄道フォトコンテストの実施 など

②沿線団体等への支援

・沿線団体への利用支援、イベント列車の運行支援、小中学生の利用促進 など

③駅舎の活用、利用環境の向上

・地域団体等との協働による駅舎の利活用 など

④経営安定基金の運用調整

・基金を活用した三セク会社の支援方法の協議・調整 など

4 検討の視点（案）

・ 地域住民や団体等の意欲的な取り組みとも連携し、県民のマイレール意識の向上につながるような効果的な事業を検討していく必要があるのではないか。

・ 現在の県並行在来線対策協議会は平成 24 年度末に発展的に解消し、新たに利用者の代表の方も含め、県民ぐるみで利用促進に向けた取り組みを進める組織（県並行在来線利用促進協議会など）を設置するのが効果的ではないか。

先行三セク会社における利用促進体制について

平成 24 年 5 月 21 日

会社名	しなの鉄道㈱	IGRいわて銀河鉄道㈱	青い森鉄道㈱	肥薩おれんじ鉄道㈱	
				熊本県	鹿児島県
利用促進 団体名 (設立年月日)	しなの鉄道沿線市町村連絡会 (平成 8 年 10 月 3 日) ↓ しなの鉄道活性化協議会 (法定協) (平成 21 年 2 月 16 日)	いわて銀河鉄道利用 促進協議会 (平成 14 年 12 月 1 日)	青い森鉄道利用促進協議会 (平成 14 年 11 月 8 日) ↓ 青い森鉄道活用推進協議会 (平成 21 年 5 月 22 日)	肥薩おれんじ鉄道 沿線活性化協議会 (平成 15 年 6 月 9 日)	鹿児島県肥薩おれんじ鉄道 利用促進協議会 (平成 16 年 6 月 30 日)
会社設立年月日	平成 8 年 5 月 1 日	平成 13 年 5 月 25 日	平成 13 年 5 月 30 日	平成 14 年 10 月 31 日	
開業年月日	平成 9 年 10 月 1 日	平成 14 年 12 月 1 日	平成 14 年 12 月 1 日(八戸) 平成 22 年 12 月 4 日(青森)	平成 16 年 3 月 13 日	
目的	地域公共交通の活性化・再生を通じた魅力ある沿線地域の創出	同鉄道の経営安定化のため、同鉄道の利用を促進	沿線地域の協力的体制の確立及びマニール意識の向上並びに同鉄道及び沿線地域の活性化	同鉄道の利用促進を通じて沿線地域の活性化及び同鉄道の健全かつ安定的な運営	同鉄道の経営の安定化及び沿線地域の活性化に資するため、同鉄道の利用促進
会長	上田市長	知事	知事	副知事	知事
県	担当室長	知事	知事、副知事(2名)	副知事、交通政策・情報局長	知事、議長
市町村	沿線(6市3町)	沿線(2市2町1村)	沿線(3市8町)	沿線(2市2町)	沿線(3市)
その他	沿線商工団体、観光団体 しなの鉄道㈱、住民代表	なし	青森県市長会、青森県町村会 青い森鉄道㈱	沿線商工団体、観光団体 肥薩おれんじ鉄道	沿線議会・教委、沿線商工団体 観光団体、肥薩おれんじ鉄道
予算規模	H23: 48,770千円 H22: 47,859千円	なし	H23: 3,161千円 H22: 2,002千円	H23: 14,532千円 H22: 14,068千円	H23: 8,264千円 H22: 7,556千円
主な事業	①旅客サービスの向上 ・増便、企画列車の運行 ・鉄道利用者への駐車場割引や貸自転車等の配置 ②駅周辺の活性化 ・駅コンサート ③地域との連携 ・沿線イベントの情報発信 ・駅舎の清掃、花木の植栽	①マイレール意識の高揚 ②利用促進 ③経営安定化基金の運用調整 ※「いわて銀河鉄道経営安定化基金」を活用した IGR に対する支援方策等についての協議・調整	①マイレール意識向上・広報 PR ・鉄道フォトリポートの実施 ②利用環境向上 ・地域団体等との協働による駅舎の清掃、花壇整備 ・駅舎等での絵画展 ③沿線団体支援 ・沿線団体の同鉄道を利活用する取組への助成	①沿線内利用者対策 ・沿線団体等への利用助成 ・子供向け鉄道利用教材作成 ②沿線外利用者対策 ・イベント列車の運行 ・旅行商品の開発支援 ③その他 ・おれんじ鉄道友の会の募集支援	①沿線地域対策事業 ・沿線イベント等の広報支援 ②利用促進支援事業 ・NPO等のイベント支援 ・小中学校等社会見学等利用促進(利用助成) ③誘客拡大支援事業 ・イベント列車の運行 ・旅行商品の開発支援

(注)変遷があった団体については、現行団体のものを記載